

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年6月18日(2009.6.18)

【公開番号】特開2007-300549(P2007-300549A)

【公開日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【年通号数】公開・登録公報2007-044

【出願番号】特願2006-128477(P2006-128477)

【国際特許分類】

H 04 N 7/173 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/173 6 3 0

H 04 N 5/225 F

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月24日(2009.4.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記憶部を有する撮像装置であって、

受信した映像データを表示する表示装置と、受信した映像データを記憶する通信装置と、に映像データを送信可能な送信手段と、

前記送信手段が送信する映像データを前記記憶部に記憶させる記憶制御手段と、

前記送信手段が前記表示装置と、前記通信装置と、に映像データを送信した際に前記通信装置で正常に受信できなかったと判断された、前記記憶部に記憶されている映像データを、前記送信手段が前記表示装置に映像データを送信しないときに、前記通信装置に対して再送するよう制御する再送制御手段と、

を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記通信装置で正常に受信できたと判断された映像データを前記記憶部から削除する削除手段を更に有し、

前記再送制御手段は、前記記憶部に記憶されている映像データを、前記送信手段が前記表示装置に映像データを送信しないときに、前記通信装置に対して再送するよう制御することを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項3】

前記再送制御手段は、前記撮像装置から映像データを受信しないことを示すオフ情報を前記表示装置から受信した前記通信装置が送信した、正常に受信できなかったと判断した映像データの再送要求の受信に応じて、前記通信装置に映像データを再送させるよう制御することを特徴とする請求項1又は2に記載の撮像装置。

【請求項4】

記憶部を有する通信装置であって、

ネットワークを介して通信可能な撮像装置から送信された映像データを受信する受信手段と、

前記受信手段で受信された映像データに対して誤り検出を行い、検出結果に基づいて前記映像データを正常に受信したか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段で正常に受信しなかったと判定された映像データよりも前に前記判定手段で正常に受信したと判定された映像データの第1ファイルと、前記判定手段で正常に受信しなかったと判定された映像データよりも後に前記判定手段で正常に受信したと判定された映像データの第2ファイルと、を前記記憶部に記憶させる記憶制御手段と、

前記撮像装置から映像データを受信し、表示する表示装置から、前記撮像装置から映像データの受信しないことを示すオフ情報を受信すると、前記撮像装置に対して前記判定手段で正常に受信しなかったと判定された映像データの再送要求を送信する送信手段と、

前記送信手段で送信された再送要求に応じて前記撮像装置から再送された映像データと、前記記憶部に記憶されている前記第1ファイル及び前記第2ファイルと、を繋ぎ合わせる処理手段と、

を有することを特徴とする通信装置。

【請求項5】

記憶部を有する撮像装置が行う通信方法であって、受信した映像データを表示する表示装置と、受信した映像データを記憶する通信装置と、に映像データを送信可能な送信ステップと、

前記送信ステップで送信された映像データを前記記憶部に記憶させる記憶制御ステップと、

前記送信ステップで前記表示装置と、前記通信装置と、に映像データが送信された際に前記通信装置で正常に受信できなかつたと判断された、前記記憶部に記憶されている映像データを、前記送信ステップで前記表示装置に映像データを送信しないときに、前記通信装置に対して再送するよう制御する再送制御ステップと、

を有することを特徴とする通信方法。

【請求項6】

記憶部を有する通信装置が行う通信方法であって、ネットワークを介して通信可能な撮像装置から送信された映像データを受信する受信ステップと、

前記受信ステップで受信された映像データに対して誤り検出を行い、検出結果に基づいて前記映像データを正常に受信したか否かを判定する判定ステップと、

前記判定ステップで正常に受信しなかつたと判定された映像データよりも前に前記判定ステップで正常に受信したと判定された映像データの第1ファイルと、前記判定ステップで正常に受信しなかつたと判定された映像データよりも後に前記判定ステップで正常に受信したと判定された映像データの第2ファイルと、を前記記憶部に記憶させる記憶制御ステップと、

前記撮像装置から映像データを受信し、表示する表示装置から、前記撮像装置から映像データの受信しないことを示すオフ情報を受信すると、前記撮像装置に対して前記判定ステップで正常に受信しなかつたと判定された映像データの再送要求を送信する送信ステップと、

前記送信ステップで送信された再送要求に応じて前記撮像装置から再送された映像データと、前記記憶部に記憶されている前記第1ファイル及び前記第2ファイルと、を繋ぎ合わせる処理ステップと、

を有することを特徴とする通信方法。

【請求項7】

記憶部を有するコンピュータに、受信した映像データを表示する表示装置と、受信した映像データを記憶する通信装置と、に映像データを送信可能な送信手順と、

前記送信手順で送信された映像データを前記記憶部に記憶させる記憶制御手順と、

前記送信手順で前記表示装置と、前記通信装置と、に映像データが送信された際に前記通信装置で正常に受信できなかつたと判断された、前記記憶部に記憶されている映像データを、前記送信手順で前記表示装置に映像データを送信しないときに、前記通信装置に対して再送するよう制御する再送制御手順と、

を実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 8】

記憶部を有するコンピュータに、

ネットワークを介して通信可能な撮像装置から送信された映像データを受信する受信手順と、

前記受信手順で受信された映像データに対して誤り検出を行い、検出結果に基づいて前記映像データを正常に受信したか否かを判定する判定手順と、

前記判定手順で正常に受信しなかったと判定された映像データよりも前に前記判定手順で正常に受信したと判定された映像データの第1ファイルと、前記判定手順で正常に受信しなかったと判定された映像データよりも後に前記判定手順で正常に受信したと判定された映像データの第2ファイルと、を前記記憶部に記憶させる記憶制御手順と、

前記撮像装置から映像データを受信し、表示する表示装置から、前記撮像装置から映像データの受信しないことを示すオフ情報を受信すると、前記撮像装置に対して前記判定手順で正常に受信しなかったと判定された映像データの再送要求を送信する送信手順と、

前記送信手順で送信された再送要求に応じて前記撮像装置から再送された映像データと、前記記憶部に記憶されている前記第1ファイル及び前記第2ファイルと、を繋ぎ合わせる処理手順と、

を実行させることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そこで、前記問題を解決するため、本発明は、記憶部を有する撮像装置であって、受信した映像データを表示する表示装置と、受信した映像データを記憶する通信装置と、に映像データを送信可能な送信手段と、前記送信手段が送信する映像データを前記記憶部に記憶させる記憶制御手段と、前記送信手段が前記表示装置と、前記通信装置と、に映像データを送信した際に前記通信装置で正常に受信できなかつたと判断された、前記記憶部に記憶されている映像データを、前記送信手段が前記表示装置に映像データを送信しないときに、前記通信装置に対して再送するよう制御する再送制御手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、前記問題を解決するため、本発明は、通信装置、通信方法及びプログラムとしてよい。